

令和4年度
自己評価報告書
(評価編)

評価対象期間 自：令和3年4月 1日
至：令和4年3月31日

評価基準日 令和4年5月 1日

令和4年6月



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

目 次

0. 教育重点項目	1
基準 1. 教育理念・目的・育成人材像	2
基準 2. 学校運営	3
基準 3. 教育活動	4
基準 4. 学修成果	6
基準 5. 学生支援	7
基準 6. 教育環境	9
基準 7. 学生の募集と受入れ	10
基準 8. 財務基盤	11
基準 9. 法令等の遵守	12
基準 10. 社会貢献・地域貢献	13

0. 教育重点項目 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
0-1-1	「建学の精神」の実現に向けた「教育の質の保証・向上」	④	3	2	1	0
0-1-2	EM・IRによる組織的學生指導体制の充実	④	3	2	1	0
0-1-3	學生主導で社会人基礎力を養うキャリア教育の充実	4	③	2	1	0
0-1-4	新設学科開発フレームを活用した調査・検討	④	3	2	1	0
0-1-5	遠隔授業の標準化・質保証と先端テクノロジーの利活用	④	3	2	1	0
0-2-1	教員の資格取得、業界との連携を強化、現職による本校独自の教員研修	④	3	2	1	0
0-3-1	夜間部学科の再構築検討	④	3	2	1	0
0-4-1	新型コロナウイルス感染症への対応	④	3	2	1	0

①課題

0-1-3

コロナ禍のため2年連続で中止になったスポーツフェスティバルは、学生実行委員経験者がいなくなった。

②今後の改善方法

0-1-3

令和4年度スポーツフェスティバルは、教職員が強い指導力を発揮する中で、学生の主体性・自主性を発揮させるように工夫する。

③特記事項

1. 教育理念・目的・育成人材像等 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	④	3	2	1	0
1-1-2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	④	3	2	1	0
1-1-3	理念などの達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	④	3	2	1	0
1-1-4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

2. 学校運営 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
2-2-5	理念等に沿った運営方針を定めているか	④	3	2	1	0
2-3-6	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4	③	2	1	0
2-4-7	設置法人は組織運営を適切に行っているか	④	3	2	1	0
2-4-8	学校運営のための組織を整備しているか	④	3	2	1	0
2-5-9	人事・給与に関する制度を整備しているか	④	3	2	1	0
2-6-10	意思決定システムを整備しているか	④	3	2	1	0
2-7-11	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4	③	2	1	0

①課題

2-3-6 少子化の傾向が止まず、学生募集面で今後の見通しは決して楽観できない。このような分析をもとにした堅牢な中長期事業計画の策定が課題となっている。

2-7-11 入学願書出願がまだ紙での出願を行っておりペーパーレス化になっていない

②今後の改善方法

2-3-6 堅牢な中期事業計画の策定に向けて、令和4年度にプロジェクトを立ち上げ議論の場を設定することから始める。

2-7-11 令和5年運用を目指してweb出願に向けて取り組む

③特記事項

3. 教育活動 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
3-8-12	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	④	3	2	1	0
3-8-13	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	④	3	2	1	0
3-9-14	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	④	3	2	1	0
3-9-15	教育課程について外部の意見を反映しているか	④	3	2	1	0
3-9-16	キャリア教育を実施しているか	④	3	2	1	0
3-9-17	授業評価を実施しているか	4	③	2	1	0
3-10-18	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④	3	2	1	0
3-10-19	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④	3	2	1	0
3-11-20	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	④	3	2	1	0
3-11-21	資格・免許取得の指導体制はあるか	④	3	2	1	0
3-12-22	資格・要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1	0
3-12-23	教員の資質向上への取組を行っているか	④	3	2	1	0
2-12-24	教員の組織体制を整備しているか	④	3	2	1	0

①課題

3-9-17 遠隔授業について、運用開始から日が浅く、対面授業と同等の評価方法が確立しているとはいえない。

②今後の改善方法

3-9-17 NEXT10 分科会にて遠隔授業の運用・評価方法について更なる検討・検証を行い、本校の標準的な教育手法としての確立を目指す。

③特記事項

4. 学習成果 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
4-13-25	就職率の向上が図られているか	④	3	2	1	0
4-14-26	資格・免許取得率の向上が図られているか	4	③	2	1	0
4-15-27	卒業生の社会的評価を把握しているか	4	③	2	1	0

①課題

4-14-26 質保証の観点から掲げた資格の取得率としては、前年と比較すると向上しているものの、目標とするレベル以上の資格を学生全員が取得するという目標は達成できていない。

4-15-27 卒業生の活躍、社会的評価、あるいは本校の専門教育の卒業生への影響を把握することは、教育の改善にとって有益である。そのためのアンケート調査は、情報の把握には最適な方法であるが、労力、費用がかかる割に、十分な数の有効回答を得ることは至難である。卒業生の姿を正確に把握するためには一定数のデータが必要であり、今後は、アンケート回答数を増やすことを課題とする。

②今後の改善方法

4-14-26 目標達成状況の向上が見受けられない学科を重点的に、学科ヒアリングを実施し、各教員の意識改革および具体的な指導方法の見直しを図る。

4-15-27 次回のアンケート実施に向けて、依頼先のチャンネルを増やすなどの工夫が必要になる。

③特記事項

5. 学生支援 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
5-16-28	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	④	3	2	1	0
5-17-29	退学率の低減が図られているか	④	3	2	1	0
5-18-30	学生相談に関する体制を整備しているか	④	3	2	1	0
5-18-31	留学生に対する相談体制を整備しているか	④	3	2	1	0
5-19-32	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	④	3	2	1	0
5-19-33	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	④	3	2	1	0
5-19-34	学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	④	3	2	1	0
5-19-35	課外活動に対する支援体制を整備しているか	④	3	2	1	0
5-20-36	保護者との連携体制を構築しているか	4	③	2	1	0
5-21-37	卒業生への支援体制を整備しているか	④	3	2	1	0
5-21-38	産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	3	2	①	0
5-21-39	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	④	3	2	1	0

①課題

- 5-20-36 オンラインの活用により、保護者に対する情報発信はコロナ禍前と変わらず実施できているが、コンピュータに詳しくない保護者も一定数存在しており、コミュニケーションの観点からは改善の余地がある。
- 5-21-38 卒業後のキャリアアップ支援を目的として、関連業界・職能団体等と卒業生の再教育プログラムについて共同開発等を行う取組み、または学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っている実績がない。また、社会人学生に配慮した長期履修制度の導入に関しても未対応である。

②今後の改善方法

5-20-36 保護者会などについて、コンピュータに詳しくない保護者とも十分な連携を確保・維持できる運用方法について検討する。

5-21-38 今後、卒業後のキャリアアップ支援を目的に、卒業生の動向を踏まえて取組みの必要性や実施要領についての調査・検討を行う。
また、社会人学生に対する長期履修制度の導入についても、社会人のニーズを踏まえて教育環境の整備に向けた検討を行う。

③特記事項

6. 教育環境 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
6-22-40	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	④	3	2	1	0
6-23-41	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	③	2	1	0
6-24-42	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	③	2	1	0
6-24-43	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	④	3	2	1	0

①課題

6-23-41 コロナ禍のため、海外研修の実施ができていない。

6-24-42 コロナ禍のため、教職員に対する実施の防災訓練ができていない。

②今後の改善方法

6-23-41 コロナ禍中であっても海外研修が実施できる方策とあわせ、同様の教育効果が期待できる代替の活動について検討する。

6-24-42 令和4年度には効果的な訓練方法を検討し、実施する。

③特記事項

7. 学生の募集と受入れ 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		4	3	2	1	0
7-25-44	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	③	2	1	0
7-25-45	学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	④	3	2	1	0
7-26-46	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	④	3	2	1	0
7-26-47	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	④	3	2	1	0
7-27-48	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	④	3	2	1	0
7-27-49	入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	④	3	2	1	0

①課題

7-25-44 全教職員一丸となった学生募集活動を実現するために、各部署の新しい職員が高等学校内の学校説明会に参加できるようになる必要がある。

②今後の改善方法

7-25-44 全教職員向けのガイダンスマニュアルの整備とトレーニングを行っていく。

③特記事項

8. 財務 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
8-28-50	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	④	3	2	1	0
8-28-51	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	④	3	2	1	0
8-29-52	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	④	3	2	1	0
8-29-53	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	④	3	2	1	0
8-30-54	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実行しているか	4	③	2	1	0
8-31-55	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4	③	2	1	0

①課題

8-30-54 監事監査については、具体的な監査計画の文書化を行えていない。
 8-31-55 電子学園オフィシャルWebサイト上で公開している財務情報および事業報告書などについて、現状はテキスト中心の記載となっている。

②今後の改善方法

8-30-54 監事監査の監査計画を文書化し実施できるよう学内の体制を整備する。
 8-31-55 今後においては図表を使用するなど、より見やすく理解しやすい掲載方法に変更する。

③特記事項

9. 法令等の遵守 評価と今後の改善方法 教育重点項目

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
9-32-56	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	④	3	2	1	0
9-33-57	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	③	2	1	0
9-34-58	自己評価の実施体制を整備し評価を行っているか	④	3	2	1	0
9-34-59	自己評価結果を公表しているか	④	3	2	1	0
9-34-60	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	④	3	2	1	0
9-34-61	学校関係者評価結果を公表しているか	④	3	2	1	0
9-35-62	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	④	3	2	1	0

①課題

9-33-57 個人情報保護に関する教職員への講習等を平成 30 年度以降行っていない

②今後の改善方法

9-33-57 令和 4 年度に教職員を対象とした個人情報保護に関する講習等を実施する。

③特記事項

10. 社会貢献 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		4	3	2	1	0
10-36-63	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1	0
10-36-64	国際交流に取り組んでいるか	4	3	②	1	0
10-37-65	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4	3	②	1	0

①課題

9-36-63・64・65

令和3年度は、コロナ禍により、例年の活動の多くが中止となり、十分な活動ができていない。

②今後の改善方法

9-36-63・64・65

コロナ禍が収束し、活動が再開され次第、コロナ禍以前の活動をさらに発展させる方策を検討する。

③特記事項